

海外安全対策情報（平成28年4月～6月）

1. 地域情勢

デトロイト市内では依然として高い水準で犯罪が発生しています。邦人が多く居住するコロンバス市（オハイオ州）、ノバイ市及びアナーバー市（ミシガン州）においては自動車盗や車上狙いなどが増加しています。外出時はもちろん、在宅中もドアなどは確実に施錠する、車内の見える場所にバッグ等を置いたままにしない、脱着可能なカーナビゲーションは車外から見えない場所に収納するなどの防犯対策をお願いします。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

当館管轄地域内（ミシガン州及びオハイオ州）の主要都市又は在留邦人が多数居住する地域の犯罪発生状況（件数）は以下のとおりです（期間：2016年4月1日から6月30日。括弧内は前3か月期比）。

州	都市名	殺人	性犯罪	強盗	侵入盗	窃盗	自動車盗等
ミシガン州	デトロイト	77 (+21)	3 (±0)	719 (+61)	1912 (+122)	3499 (+269)	2185 (+287)
	ノバイ	0 (±0)	0 (±0)	0 (-0)	4 (-11)	51 (-14)	54 (+25)
	アナーバー	0 (±0)	24 (+10)	14 (+9)	66 (+33)	207 (+90)	130 (+51)
オハイオ州	ダブリン	0 (±0)	0 (+2)	2 (±0)	25 (-4)	92 (+29)	60 (-15)
	コロンバス	1 (-1)	12 (+11)	79 (-12)	149 (-21)	397 (+104)	276 (+168)
	シンシナティ	3 (+1)	23 (+10)	69 (+23)	176 (+17)	500 (+117)	8 (-9)

3. テロ情勢

バングラデシュの首都ダッカで、武装集団がレストランを襲撃し、日本人7名を含む約20名が殺害されたほか、トルコのイスタンブールやベルギーのブリュッセル空港などにおいてもテロ事件が発生しています。米国内でもフロリダ州オーランドで襲撃テロが発生し、同種事案では国内最悪の49名が死亡するなど、米国内外のいかなる地域においてもテロに巻き込まれる可能性は否定できません。

ミシガン州及びオハイオ州内における具体的な脅威情報には接していませんが、テロの標的になりやすい場所（空港、駅及びイベント会場など不特定多数が集まる場所）を訪れる際には、安全確保に十分注意を払ってください。

4. 日系企業の安全等に関わる諸問題

デモなど対日感情の悪化に関する事案は把握していません。

在留邦人の皆様へ

当館ホームページに海外安全対策情報（平成28年4月～6月）を掲載しましたのでお知らせ申し上げます。

在デトロイト日本国総領事館
(リンク：http://www.detroit.us.emb-japan.go.jp/index_j.htm)